

五つの宝



泉八小だより 第14号

令和3年10月28日

校長 井上 雅晴

実りの秋！収穫の秋！！



こうべを垂れた「天空舞（米）」が秋空に映えます。6月にみんなで植えた稲が見事に生長し、収穫の時期を迎えました。お世話をさせていただいた高尾さんのご指導を受け、稲を刈り取りました。

まずは機械の入らない田の周囲を手刈りします。鎌でひっかけて稲をまとめ、まとめた稲を左手で外側からつか



んで、稲の根元近くを鎌で斜めに引くと「ざくっと」切れます。なんとも心地よい感触ですよ。



刈り取った束をまとめたら、ワラで稲の根元を一巻きしてねじりながら締め、束ねていきます。

機械が入る程度、田の周囲の手刈りができたら、いよいよここからは機械刈りです。あっという間に次々と稲を刈り取っていきます。みんなも恐る恐るながら、機械の操作も体験させていただきました。緊張した表情の中にも笑顔があふれます。



刈り取りが終わったら、今度は掛け干しの作業です。棒を3本組んで土台を作り、長い竹を通して稲架を作ります。稲架に稲を逆さにして掛けていきます。稲を逆さにつるすことで、茎に残っている栄養分をお米に移す効果と自然の風に当ててゆっくり水分を抜くことで、甘みのあるお米に仕上がるのだそうです。

2週間ほど風に当て、干しがあがったらいよいよ脱穀です。雨が降って心配しましたが、見事2袋半のお米が収穫できました。



収穫したお米（自称「天空舞（米）」）はもち米です。年明けの1月11日（火）に餅つきを予定しています。是非ご協力をお願いいたします。

今回、「地域を学ぶ、地域に学ぶ」「縦木学」の一環として米作りを体験しました。これからいろいろなことを経験し、地域の良さを地域の方々とともに学んでほしいと思っています。